



ねらい	オリジナルの伝統工芸作品を作る楽しさを知ります
対象	小学4年生から大人まで
人数	40人程度
時間	2時間～3時間程度
場所	工作室
準備	デザインを考えてくると良い

事前準備

- 事前に七宝焼に描くデザインを考えておくと、スムーズに活動が始められます（ただし、あまり細かい絵だと難しいのでシンプルなのが望ましい）
- キーホルダー、ブローチ、ペンダント（ストラップ）の3種類から選んでください
 - ・大きさの比率：ブローチ>キーホルダー>ペンダント（ストラップ）

実際の活動

- 必要物品をテーブルごとに取りに行きます
 - ・スチールウール（缶の中に入っています・人数分）、ホセ（竹の筆・人数分）、金網（人数分）、裏引き、七宝焼絵の具（12色入）、水（ペットボトル）、水入れ（黄色のバケツ）
 - ※水入れの一番大きい口には水を入れません（廃液用）
- 次の手順でつくります
 - ・七宝焼の本体が入っている袋から、本体を取り出します（袋は捨てずに取っておきます）
 - ・本体から銅板を外します（銀色の台の部分は袋の中に入れておきます）
 - ・銅板の表面と裏面をスチールウールで磨きます（蛍光灯に照らして白く見える程度まで）
 - ・磨いた銅板を金網の上にへこんでいる部分を表にしてのせます
 - ・裏引き絵の具に水を入れて絵の具を湿らせ、上澄みを水入れに捨てます
 - ・裏引き絵の具を銅板にのせ、全体的に厚さが均一になるように、ホセを使って端まで広げます
 - ・ティッシュで水分を取ります（先端を中央部分に5秒ほどあてます）
 - ・引っくり返して金網の上に置きます
 - ・七宝焼絵の具で絵を描いていきます（七宝焼絵の具は裏引き絵の具と同様、水で湿らせて使います）
 - ※細かい部分はティッシュの先端で水分を吸収させると、にじみづらくなります
 - ・作品ができたら、電気がま横の鉄板の上ののせます
 - ・電気がま（800℃）で3分程焼きます
 - ・冷めたら金網から外し、銀色の台に一度はめてみます
 - ・はまらなかった場合は、水ヤスリで周りを削ります
 - ・銀色の台の縁にボンドを付けて、作品をはめて完成です

留意点

- 焼きあがったばかりの作品はとても熱いので、10分～15分ほど冷まして下さい
- 七宝焼はガラス細工ですので、落とすと割れる可能性があります
- 火傷やケガに十分注意して取り組みましょう

